

令和5年度

心を動かされたいとき

わたしの おほん 推し本コンテスト 中間発表！！



「生きる勇氣や希望」をもらった本「わたしの推し本」(おすすめの本)を募集した結果、

R5年6月～R5年8月で303件の投票をいただきました。

中間発表では、「こんなときに読んでほしい本」を小学生の皆さんからもらったおすすめコメントと一緒に紹介します！気になった本は、ぜひ読んでみてください！

ゆうき 勇氣をもらいたいとき

地球は食べ物



いきもの獲って食べてみた日記

著：ホモサピ

生き物の捕り方が詳しく書かれていて生き物を取るときに役立ちました。特に、ホモサピさんの人生について書かれたところがあってとても勇氣をもらいました。

キングダム

著：原泰久

下僕の少年が友人と「天下の大將軍になる」という夢を諦めずに戦っている場面から勇氣をもらった。



わな 罾ガール

著：緑山のぶひろ

18歳の女の子が、いろんな動物を罾で捕まえたり、役所に電話をかけたりしていて、最初から最後まで自分でやっていたので、動物と戦う勇氣をもらいました。



ことば 言葉の力を感じたいとき

また、同じ夢を見ていた

著：住野よる

主人公たちが放つ言葉に惹かれる所です。私が好きな言葉はおばあちゃんが言う「いいかい、人生とは全て希望に輝く今のあなたのものよ」という言葉に勇氣をもらいました。



四つ子ぐらし

著：ひのひまり

最後に三風ちゃんが「辛いことも、さみしいこともあったけど、こうして姉妹とくらせるようになって、今は本当に幸せなの。不安なことがあっても、姉妹といっしょなら、きっと大丈夫だって思えるの。それが、私たちなんだ。」という言葉に心をうたれました！



桜のような僕の恋人

著：宇山佳佑

物語の最後に出てくる、美咲が晴人に初めて書いた手紙です。人の何十倍もの速さで年老いてしまう病気になってしまった美咲が、晴人への大好きの気持ちを伝える手紙に今まで伝えられなかった気持ちや、これからの気持ちなどが書かれてる美咲の最初で最後の手紙でとても感動します。



銀河鉄道の夜

著：宮沢賢治

本当の幸いを探る旅で主人公達の様子や情景の様子などが伝わりやすくなっているのて心を動かされます。主人公と友達が汽車に乗っていると突然友達が消えてしまい、本当の世界ではその友達が溺れている人を助けて亡くなり、そのきっかけで主人公が本当の幸いを見つけることができました。また、主人公の感情や様子が絵でわかりやすくなっているのてどんな気持ちなのかが読み手に伝わりやすくなっています。

◎「わたしの推し本コンテスト」の投票は11月30日まで開催中です！

右にあるQRコードを読み込むと、投票することができます。



紹介した本は市内の図書館で借りることができます。



市立図書館「りぶらん」
白河市道場小路96-5
TEL23-3250



表郷図書館
白河市表郷金山字長者久保2
TEL32-4784



大信図書館
白河市大信町屋字沢田25
TEL46-3614



東図書館
白河市東釜子字狐内47
TEL34-1130



不安や悩みなど、何か相談したいことはありますか？中央保健センターには、心の健康に関する相談窓口があります。ひとりで悩まないで相談してくださいね。

お問い合わせ・相談窓口

白河市健康増進課
(中央保健センター)
住所：白河市北中川原313
TEL 27-2114
月～金 8:30～17:15
祝祭日・年末年始を除く